



子ども達の成長の場であり、 大勢の人たちに笑顔届ける

プラスニューカンパニー
代表
金井麻衣子さん

“演劇と教育を結び付けよう”という趣旨のもと活動をしている + new Company は 2009 年から活動をはじめています。脚本から音楽、全てオリジナルミュージカルである“千年に1度の奇跡”シリーズの『ランの宝物』～ランとティンラの小さな旅～は第 23 回目の公演を迎えました。耳が大きいことで昔から辛い経験をしてきた少しやんちゃな少年の妖精ランと、声の出ない少女ティンラの二人の主人公を物語は軸に据えています。この主人公ランを、小学 3 年生の二人の子ども達が演じました。



プラスニューキッズのメンバーと参加した子ども達が、表現することの楽しさを共有した、昨年 10 月のこまえくぼ 1234 でのワークショップの様子。周りの大人達も笑顔であふれていました。

ラン役を演じた二人の子に話を聞くことができました。



小桜みいさんは「感情作りが大変だった」と語ります。“耳が大きくていじめられた経験”はもちろん、ランの人生におけるほとんどのことをわたしは経験したことがありません。しかし、役を通じて、「感情を作れるようになった、一歩踏み出すみたいに、成長できた!」と楽しそうに教えてくれました。

石川楓菜さんは演劇を通して新しく興味を持ったことに「脚本づくり」を挙げました。自分が演じるだけではなくシナリオを作ることに関心が広がったこと、そのことについて恥ずかしがりながらも、自信をもって答えてくれる姿に小学生とは思えない、力強さを感じました。



設立者でありオリジナルミュージカルのシナリオを書く金井麻衣子さんは、子ども達が普通では経験できないようなことを、演劇を通して学んでいくことができると言います。楽しく、そして子ども達が進んで稽古をすることで、感受性や人とのかかわり方を自然と身につけて

いくことができるのです。

「人は一人じゃなくて、助けを借りて生きていくもので、辛いことや経験を乗り越えて生きていけることが本当に大切なんだなって思います。…お互いの話を聞いて、誠意をもって話し合えば、全てのことが解決するんじゃないかなって」金井さんは語ります。子ども達の成長の場であり、大勢の人たちに笑顔届けるプラスニューカンパニーの姿がここに



ダンスワークショップ「ドレミの歌で踊ろう」

ありました。

2020 年 5 月からは、老人ホームや保育園等にショーを届けようと、小中学生を中心に「プラスニューキッズ」を立ち上げました。コロナ禍で思うような活動ができませんでしたが、昨年 10 月にはこまえくぼ 1234 で体験イベントを行い、噴水前でのパフォーマンスもできました。3 月には海老名の小学校から講演の依頼も来ているとのことで、これからの活動に期待したいと思います。

(取材記事：こまえくぼ広報部会 有本)

- 設立年月：2009年4月。
- 活動目的：演劇・イベントの開催、キッズの育成、ボランティア活動
- 活動内容：“演劇と教育を結び付けよう”という趣旨のもと、学校公演や福祉施設などでのミュージカル・ショーを提供します。
- 活動場所：狛江市内施設、世田谷区内施設
- 活動日時：毎週土曜日 16:30～19:30 その他不定期

お問い合わせ先

+ new Company (プラスニューカンパニー)

080-1161-1795

mail@plusnewcompany.com

+ new Company
ホームページ

